

2024年2月29日対話会向け事前質問

東京電力HD(株)立地地域部原子力センター 渡井様

2023年2月8日 木村雅英

ウクライナ戦争もガザ大虐殺も続いています。人類は何と愚かなのでしょうか。軍需産業と関連企業が増えることを憂います。なぜなら、日本でなぜ原発が無くならないのかについて、推進側の役員だった方から原発関連事業に群がっている産業が多いからと聞いたからです。

質問1【全般】 原子力改革でなく原子力離れを

質問1-1 前回に原子力政策について「日本のエネルギー自給率がわずか数%」、「バランスのとれたエネルギーミックス」などを上げられました。ウランは輸入しているではありませんか？ 福島第一原発事故を起こした東電が膨大な税金を国に出させながら原発推進することに抵抗はないのですか？

質問1-2 前回にウラン廃棄物を百万本以上保有とお聞きしました。追加質問です。東電が国内に保有(保管)する核のゴミの概略の総量を教えてください。資料紹介でも結構ですが、簡単に概略総量が分かるものをお願いします。

質問1-3 前回の「再処理と核燃料サイクルも破綻」の質問に対して「当社としても、原子燃料サイクルには重要な意義があると考えており、官民一体となって原子燃料サイクルの推進に努めてまいります」と回答されました。核燃料サイクル破綻が確定した場合にはどう対応するのですか？

質問1-4 原発は、クリーンでもグリーンでもない、大量の核のごみ(死の灰)を生み放射能をまき散らし、発生熱量の2/3を海に捨てる海温め装置です。皆さんはどう考えていますか？

質問1-5 前回、九州電力の原発4基の稼働による再エネ出力制御批判を述べました。にも拘らず、東京電力も再エネの出力制御をするとの新聞記事を見て、さらにラプラスシステムの東電管内の発電事業者向けのサイトを発見して驚きました。この出力制御への取組みの説明をお願いします。原発を稼働させて再エネを制御することはしないでいただきたい。

質問2【放射能汚染の影響】

質問2-1 イチエフ放射能汚染の実態把握のためのNDの扱い

発電用軽水型原子炉施設における放出放射性物質の測定に関する指針(昭和53年9月29日原子力委員会決定)を提示いただきました。私からは前回会合でお示した環境省サイトからの注意(<https://www.env.go.jp/chemi/rhm/h30kisoshiryo/h30kiso-02-04-03.html>)を再度紹介します。放射能汚染水(ALPS処理水)の放射性物質の量の評価において、水量が多いので不検出はゼロを意味するのではないことを重視するべきと考えます。

例えば、放射性物質放出量
= < 検出限界値 × 放流量
と表示するべきです。前回の会議でそのことをお伝えしましたが、その後の発表でこの考えを適用していますか？

線量測定と計算

検出限界値(検出下限値)

「ND」: 「Not Detected」の略

不検出(ND) = 測定値が検出限界値未満

✗ 測定値がゼロ

測定結果が「不検出(ND)」となっている場合には、測定値が検出限界値未満であったことを示しています。

検出限界値は測定時間や試料の量などによって変化します。測定の目的に応じて、分析機関において設定されています。

◆ 測定時間が長いほど、検出限界値は小さくなります。

測定時間をX倍 → 検出限界値は $\frac{1}{\sqrt{X}}$ 倍

例1: 測定時間を2倍にすると、検出限界値は $\frac{1}{\sqrt{2}}$

例2: 検出限界値を60 Bq/kgから30 Bq/kgにしようとすると、4倍の測定時間が必要

◆ 試料の量が多いほど、検出限界値は小さくなります。

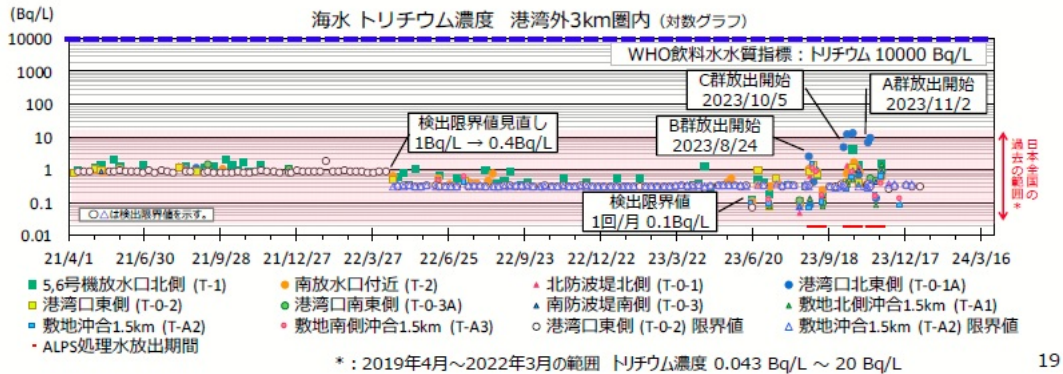
例: 試料の量が0.2 kgのときの検出限界値が200 Bq/kgのとき、試料の量を1 kgに増やすと検出限界値は40 Bq/kgになります。

農林水産省 放射性物質の分析について(平成23年12月)より作成
http://www.maff.go.jp/j/syouan/seisaku/data_reliance/maff_tonikumi/pdf/rad_kensyu.pdf

質問 3 【イチエフ汚染水対策】 汚染水海洋投棄(「海洋放出」)

質問 3-1 イチエフ放射能汚染の魚への影響

「ALPS処理水海洋放出の状況について」(2024年1月25日)の海域モニタリングの実績(1)～(15)、至近の放出期間中の海水トリチウム濃度(1)～(3)、海水のトリチウム濃度の推移(1/4)～(4/4)の各グラフを見ると、多くの採水地点で今年の夏ごろから濃度が上昇傾向にあることを示しています。



皆さんが昨年3回の「処理水海洋放出」(実は汚染水海洋投棄)により、福島周辺の海を、そして太平洋を汚染していることをどう実感していますか？

質問3-2 港湾周辺の将来設計

前回お尋ねしましたが「福島第一原発港湾魚類対策の取り組み」(港湾内海底土被覆、セシウム低減(フェーシング)、刺網による魚類移動防止・捕獲、網の高耐久化、1-4号機周辺包囲設置、港湾口における魚類移動防止対策、海底再被覆工事の開始と放射性物質の拡散抑制策など)の実施状況と結果を教えてください。

また、これから先に港湾周辺はどの様に推移すると予測しているのかを確認させてください。いつの間にか港湾内が死の海になることは無いでしょうか。10年毎の将来予想図をご提示願います。

質問 3-3 昨年3回の「海洋放出」を終了した結果をどう評価しましたか？

また本年2月以降も「海洋放出」予定の様ですが、何か改善しましたか？

風評に伴う賠償に関して、請求内容の大半が禁輸措置に関する被害であり、ALPS 処理水放出に伴う被害として11月22日時点で約60件の請求と回答されました。その後の追加件数などを教えてください。

また、これらの風評被害賠償は、海洋投棄をしなければ必要がない賠償です。

質問 3-4 昨年内予定のALPS処理水の移送は順調に終了しましたか？ 何かトラブルはありませんでしたか？ ALPS 処理で吸着剤、スラリー、スラッジなどはどこにどの様に保管・管理されているのでしょうか？

質問 3-5 【K排水路など】 前回に「排水水路の排路の排水水濃度の状況

https://www.tepco.co.jp/decommission/information/committee/roadmap_progress/pdf/2023/d23092_8.11-j.pdf を紹介いただきましたが、

図の様に最近の1年半で「地下水NO2-5全β」が急騰(10万Bg/L=>100万Bg/L)していました。原因と対策について前は「引き続き傾向を注視してまいります」と回答されました。その後何か明らかになったことがありますか。またK排水路について改善されたことがありますか？

質問 3 - 6 【水産資源保護法違反】 垂れ流しは犯罪行為

水産資源保護法を犯していないについてどの様にチェックしているのかを教えてください。特に、世界三大漁場のひとつ北西太平洋漁場を汚し続けることを私たちは危惧しています。

質問 3 - 7 【事故炉の放射性物質の海外放出】スリーマイル事故後の米国も、チェルノブイリ事故後の旧ソ連も、事故炉からの放射性汚染物を海外に「放出」していません。今回はこのことを認められました。それでも、海外放出に固執する理由を教えてください。

質問 3 - 7 「海はすべての命の源！ 海はオレたち漁師の仕事だ！」と考える漁業者や漁協に、「海洋放出」をどの様に正当化されるのかの質問に、「国内外の皆さまに、引き続き、ALPS 処理水の海洋放出を含めた、廃炉・処理水等対策について、丁寧にご説明させていただき取り組みを一つひとつ重ねてまいります。」と説明にならない回答をされました。1, 2 号機のデブリ取り出しを延期するなど廃炉対策が不調な中で、どの様に丁寧に説明するのですか？

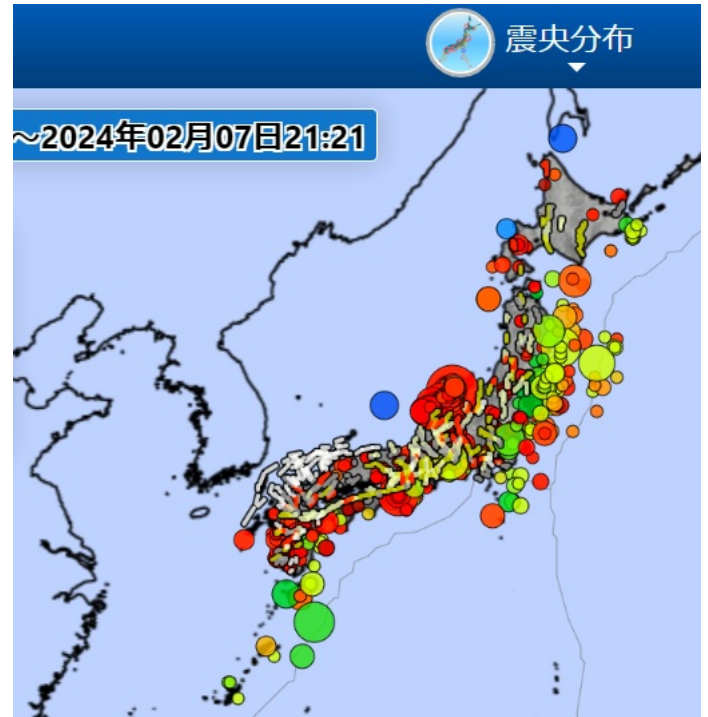
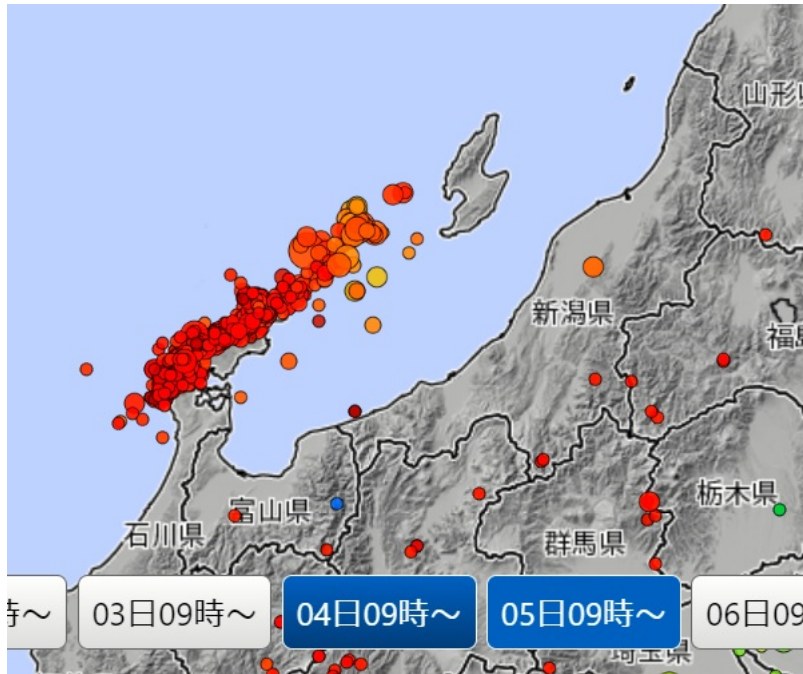
質問 3 - 8 3 回行われた「海洋放出」について、この処理案を決定した時の予算案と、これまでかかった費用と、現時点の予算案について、前回回答いただけませんでした。再度お尋ねします。

質問 3 - 9 福島第 1 原発の汚染水処理施設でまた廃液漏れ 周辺環境の 240 倍の放射線 地面に染みこんだ可能性も 2 月 8 日に東京新聞が報道しました。構外への漏えいは無かったのでしょうか？ 昨年来頻発する作業労働者の被ばく事故は起こらなかったのでしょうか？

質問 4 【日本原電への資金支援】 日本原電の安全対策費の資金支援について、防潮堤の不備があり「当社としては、現在、事象の詳細について確認を進めているところです。」と回答され、資金支援の返済について「状況を確認の上、総合的に判断していきます」と回答されました。その後の変化を含めて、これらについて、再度確認させてください。

質問 5 能登半島地震と柏崎刈羽原発

2024 年元日からの能登半島地震で多大な被害をもたらし、志賀原発が稼動していなくて良かった、東電も建設しようとしていた珠洲原発が建設されていなくて良かった、と胸を撫でおろしました。また、新潟県でも震度 5 強の地震が観測されました。地震は今も続き、気象庁の 2 月の震央分布が能登半島のみならず新潟県にも大地震が起こり得ることを示しています。



地震の影響を東電は1月11日に発表し、2007年の中越沖地震東電と比較して原子炉建屋観測点の地震加速度は一桁小さいとしています。それでも2,3,4,6,7号機において、使用済燃料プールの水の溢れを確認(6号機で最大600リットル)しています。

質問5-1 東電は今も続くこの地震から何を学びましたか？ 柏崎刈羽原発の例えば6,7号機が稼働していたならばどのようなトラブルが起こったと思いますか？

質問5-2 日本活断層学会ほか多くの地震学者が発言している様に地震評価をより厳密にするべきと考えませんか？

質問5-3 能登半島における家屋倒壊と道路寸断を見れば柏崎刈羽原発周辺でこのような大地震が起こると屋内退避も緊急避難も不可能です。また、柏崎刈羽の場合では大雪時にも避難困難が既に明らかになっています。避難計画は絵に描いた餅で実効性が無いことをどう考えますか？

質問5-4 私は、自然が与えた日本列島に住む私たちへの警告だと思います。柏崎刈羽原発の再稼働を断念しませんか？

質問5-5 柏崎刈羽原発の再稼働をめぐり、新潟県が取り組んだ福島第一原発事故に関する「三つの検証」について、検証を総括する責任者だった池内了・名古屋大名誉教授が独自に報告書をまとめ東電を事業者として「不適格」と断じました。柏崎刈羽原発の再稼働を断念していただきたい。

質問5-6 昨年末に柏崎刈羽原発の使用済み核燃料の搬出が発表されました。今年度内に搬出計画を立てるそうですが、概略の計画を確認させてください。原発がある柏崎刈羽でもなく、電力消費地である東京周辺でもなく、遠く青森に搬出することを東電はどのように考えているのですか？

以上